

てとて

—岩手県民のてとてをつなぎ、環境の輪を拡げるために—



訪問学習の様子



環境学習講座
「地球にやさしいエコ教材作り!!」(8月9日)

着物リメイクファッションショー in アイーナ復興バザー (10月5日)



集合写真



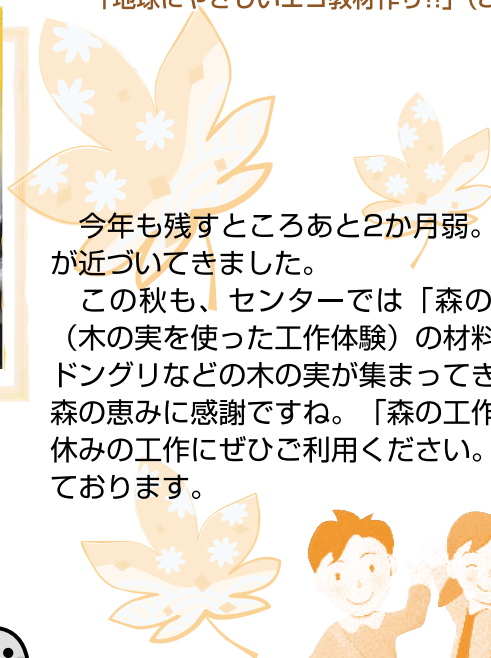
ショーの様子



ボランティアとして北日本ヘア・
スタイリストカレッジの学生さん
にもお手伝いいただきました!

今年も残すところあと2か月弱。冬の足音が近づいてきました。

この秋も、センターでは「森の工作館」(木の実を使った工作体験)の材料となる、ドングリなどの木の実が集まってきました。森の恵みに感謝ですね。「森の工作館」も冬休みの工作にぜひご利用ください。お待ちしております。



Index



○センター情報

- ・展示：9月の展示「私たちのみちかにある自然 写真展示 & ミズアオイ パネル展示」
- ・環境学習講座：7月「マクロビオティックでLOVE&PEACE!!」
- ・エコカーゴが行く～第17回～

○団体紹介

- <盛岡市>NPO法人コウモリの保護を考える会
- <一関市>NPO法人北上川サポート協会

○イベント報告・県内のイベント情報

○環境学習交流センターの事業紹介

◎展示

9月の
展示

「私たちのみちかにある自然 写真展示 & ミズアオイ パネル展示」

9月は『自然』をテーマに展示を開催しました。

写真展では、写真愛好家のたむらまさこさんが岩手県内で撮影した草花・風景を10点展示。普段何気なく生活する傍らに、見落としてしまいがちな花々の美しさや、岩手の素晴らしい自然・風景に、改めて触れていただく事ができたのではと思います。

また、岩手県立大学より協力いただき、被災地における絶滅危惧植物ミズアオイとビオトープの再生の研究結果をまとめたパネルの展示も行いました。ミズアオイは昔稲と共生していたのですが、稲の生産性を優先するために雑草扱いされ、徐々に数が減っていったそうです。しかし地中深く眠っていた種が津波で洗掘され復活したとの事。9/27の環境学習講座では県立大生による発表も行われました。これからも、ミズアオイの動向を見守ってゆければと思います。



◎環境学習講座

7月 「マクロビオティックで LOVE & PEACE!!」

日時：7月17日(木) 12:00~13:30

講師：ミウラ キヨタカ 氏

参加者：30名

初めての試みで、お弁当付きの講座にしたところ定員30名を超える参加希望者があり、お断りしなければならないほどでした。先生が作ったお弁当をいただきながらの講座は、人柄溢れる話術も相まって、ほのぼのとした講座となりました。

マクロビオティックとはMACRO (マクロ)・BIO (生命)・TIC (方法)、楽しく長生きする方法のことです。

- ・一物全体=一つの物を丸ごと食べる (玄米の胚芽、野菜の根や皮にはミネラル・ビタミンが豊富)
- ・身土不二=その土地の物を食べる (同じ環境、季節・天候で育ったものが体にはあう)
- ・陰・陽調和=バランスを取る (食材にも陰性と陽性がありそれをバランスよく取ったり調理法を工夫し、体の陰陽バランスを中庸に保つことが大事)
- ・食べ物を良く噛む (50回くらい)
- ・食事は空腹になった時食べる
- ・就寝三時間前は何も食べないようにする (臓器も休める)
- ・長風呂・熱いシャワーはやめる (ミネラルが失われる)

まだまだ決まりごとがたくさんありましたが、決まりごとがあっても取り入れるのは難しいかなと思っていた参加者の方々も、「マクロビオティックは食事法だけではなく生活法である。きっちりやろうとすると本当に大変なので良いと思うところを少しずつやってみてください」の一言で気が楽になったようでした。



また、食と環境についての関わりも話して下さいました。例えば、人参は店に並んだ段階で皮は無く、家で皮だと思ってむかれゴミとなっているとのこと。実は私も人参の皮だと思ってむいていましたが、やめました。確実にゴミも減り、環境にも良いと気付かされたのでした。

食も生活もすべては物を大事にすることから始まり、その先は環境にもつながっていると感じた講座でした。

ゴミを出さない調理法・生活法を環境と共に考えてみてはいかがでしょうか。(S)



eco紙芝居とクイズラリー

エコカーゴが行く!

第17回

出動日：9月14日（日）

場 所：浄土ヶ浜ビジターセンター（宮古市）

9月14日（日）、浄土ヶ浜ビジターセンターにて開催された子ども向けイベント『eco紙芝居とクイズラリー』に行ってきました。

浄土ヶ浜ビジターセンターでは、これまでクイズラリーを開催したことがなく、環境学習交流センターで実施している『アイナの森たんけん』（自然に関するクイズラリー）のノウハウを学び、今後、浄土ヶ浜ビジターセンターでも活用して行きたいという思いもあったそうです。

浄土ヶ浜ビジターセンターは、3階にまたがる立派な展示施設。クイズは各階を回って歩きながら、近くの展示物の中に答えを見つけることができるよう工夫してありました。15問中3問は環境クイズを加えています。

この日のプログラムは、環境紙芝居①「地球がたいへんだ〜！」→発電体験→クイズラリー→つみ木体験→クイズの答え合わせ→環境紙芝居②「うみからのあかしんごう」。一番小さな参加者は2才の女の子でし

た。子ども達は真剣に紙芝居を聞き、クイズラリーの正解率も高く、ほぼ全員が100点満点でした！

9月の3連休中だったので、浄土ヶ浜は観光客がたくさん訪れていました。今後も沿岸地域の方々に、どんどんエコカーゴの出張環境学習会をご利用いただければと思いました。かわいい子ども達の笑顔に癒された一日でした。



その他、こんなところにも行きました！

■スターウォッチング☆いちのへ2014

出動日：7月26日（土）

場 所：一戸町観光天文台

■第6回五葉湖畔の集い「元気です！水と緑の鷹生ダム」

出動日：8月3日（日）

場 所：大船渡市 五葉湖（鷹生ダム）

■イオン盛岡チアーズクラブ環境学習

出動日：8月9日（土）

場 所：土淵地区活動センター

■青少年地域活動事業「わくわくエコ教室」

出動日：8月10日（日）

場 所：大船渡市民交流館カメラホール

■梁川振興会女性部研修会

出動日：8月26日（火）

場 所：梁川地区センター（奥州市江刺区）

■東北農業研究センター公開デー

出動日：9月6日（土）

場 所：東北農業研究センター

■省エネ&エコクッキング講座@久慈

出動日：9月18日（木）

場 所：久慈市中央公民館

■IBCまつり2014 in アピオ

出動日：9月20日（土）・21日（日）

場 所：岩手産業文化センター アピオ

■本宮ゆいっこまつり

出動日：9月28日（日）

場 所：中央公園イベント広場（盛岡市）

■第20回宮古市産業まつり

出動日：10月4日（土）・5日（日）

場 所：宮古市民総合体育館

■省エネ&エコクッキング講座@二戸

出動日：10月9日（木）

場 所：二戸市中央公民館

■2014しずくいし産業まつり

出動日：10月25日（土）・26日（日）

場 所：雫石町総合運動公園

■渋民小学校PTA行事

出動日：11月4日（火）

場 所：盛岡市立渋民小学校



今後の出動予定

● 省エネ・エコクッキング講座@花巻

出動日：11月18日（火）

場 所：花巻市定住交流センター なはんプラザ

● キャンドルづくり講座

出動日：12月20日（土）

場 所：浄土ヶ浜ビジターセンター

※予定は変更となる場合がございます。今後の情報は、環境学習交流センターのホームページ（イベントカレンダー等）でご確認ください。

※エコカーゴ（出張環境学習会）の申込み受付は、先着順となります。開催日の1ヶ月前までにお申込み下さい。

団体紹介

『特定非営利活動法人 コウモリの保護を考える会』(盛岡市)

コウモリは地球上の哺乳類の約1/5(約1100種)、日本の陸棲哺乳類の約1/3の種数(35種)を占め、生態系の重要な存在でありながら、普段人目に触れる機会が少なく、誤解や偏見を持たれやすい生物です。中には人知れず減少している種もあると考えられています。

当会は、街中から山奥まで様々な環境に棲むコウモリについて、人間社会との共存策を探り、保全・保護を進めることを目的に平成16年に岩手県より認証を受けたNPO法人です。会員は北海道から九州まで約60名で、東北を拠点として調査・保全活動や観察会を行っています。これまでの調査では各県で初記録種の確認や新知見を得てきました。保全活動や観察会は各地の自治体や地元の方の協力を頂きながら行っています。日本で初めてコウモリの保全施設が作られた青森県七戸町を始め、八戸市の小学校、岩手県の網張で観察会を行っている他、今年は秋田県で初となる観察会を北秋田市で行うことができました。

共存と保護を考えるには抽象的ではなく具体的且つ科学的な知見の積み重ねが重要です。そのため各地で継続した調査を行い、公表することが大切であると考えています。今後もコウモリに対する理解を広げられるよう活動していきます。

特定非営利活動法人 コウモリの保護を考える会
問い合わせ 事務局 〒020-0003 盛岡市下米内2-10-10
TEL : 019-663-2124 Mail : batnpo@yahoo.co.jp



『特定非営利活動法人 北上川サポート協会』(一関市)

北上川サポート協会は平成16年3月に設立し、一関市川崎町内を流れる北上川や砂鉄川を活動の拠点とし「川との共生」をテーマに親水活動を行っています。

主な活動は・・・

- ① 北上川のゴミ拾い活動「北上川クリーン大作戦！」(年2回)
・船を利用し、川の中や両岸など普段取れない場所のゴミ拾い。
(国土交通省河川調査船「ゆはず」・ゴムボート・木船等7艇で実施)
- ② 自然学習活動「北上川カヌー体験・Eボート体験」(年6団体受入・6月～10月)
・北上川の3キロコースをカヌー体験したり、北上大橋付近の北上川でEボート体験。
※保護者の方々の要望に合わせ、子ども達がより楽しく体験できる工夫をしている。



春と秋に行われる「北上川クリーン大作戦」の様子

- ③ 水辺創造活動「ホタル観察会」「水生生物調査」
・川崎地域内のゲンジボタル・ヘイケボタルが息息する場所でホタル観察会。観察会の他にホタルのぬり絵、ホタル紙芝居など観察会にも工夫をしている。
- ④ 人材育成活動「ロープワーク講習会」
・普段生活の中で使用する身近なロープの結び方から災害時に使用するロープの結び方を教えます。

指定管理業務を行っている北上川交流センター(川崎防災センター)を拠点に、川の活動を通して、子どもも大人も地域にある自然の大切さを学んでもらいたいです。

活動の様子は随時、ブログ、ホームページに更新しますので、ご覧ください!!

「体験してみたい」「話が聞いてみたい」という方はどなたでもお気軽にお問合せ下さい。



北上川カヌー体験の様子

NPO法人北上川サポート協会事務局(担当 金野和則)
〒029-0202 岩手県一関市川崎町薄衣字如来地100-1(川崎防災センター内)
TEL : 0191-36-5666 FAX : 0191-36-5667

Mail : riverside.kawasaki_sp1631@khaki.plala.or.jp
ブログ : <http://spblog.naturum.ne.jp/>
ホームページ : <http://kitakamigawa-sp.jimdo.com/>

県内のイベント報告

エコツアー「てんぷら油が車や農業で使われるまで」

日時：2014年10月4日（土）

主催：岩手県地球温暖化防止活動推進センター
特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

このエコツアーでは、家庭から出されたてんぷら油がディーゼル燃料の代わりになるバイオディーゼル燃料として精製される現場や、農業分野で実際に使われている現場を見学して、この循環する活動の意義を実感し、地域資源の有効利用の輪の拡大推進を目的としています。

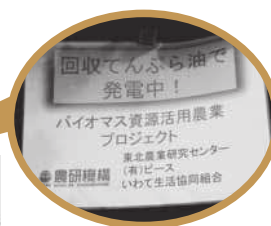
陸前高田市、大船渡市と住田町から9人のツアー参加者の皆さま方と一緒に、バイオディーゼル燃料をつくっている現場・石上の園と、農業分野で使っている現場・(有)ピースさんの田んぼを見学しました。

最初の石上の園では、バイオディーゼル燃料製造機の前でてんぷら油が燃料になる過程を見学しました。

次に、実際に使われている(有)ピースさんの農業の現場を見学しました。稲刈り真っ最中の田んぼで、農業機械コンバインが稲を刈り、籾の脱穀をして、わらの処理をする様子を見学しました。バイオディーゼル燃料で動いていることは、てんぷら油のにおいがするので実感できました。

(有)ピースさんではその他に、精製前の廃食油で動く発電機が、実際に籾の乾燥に使われているところも見学させていただきました。

作っている人がいなければ、バイオディーゼル燃料はできないし、使ってくれる人がいなければ、それがなりたないし、回収する人がいなければ、資源はない。うまくサイクルが回ることが大事であることを実感するツアーとなりました。稲刈り日和の一日、たくさんの皆さまとともに、とても有意義なツアーとなりました。皆さまに感謝いたします。



天ぷら油で発電も
行っています

(有)ピースにて、
フォークリフトに
給油しているところ



バイオディーゼル燃料で走るコンバインの前でハイピース!!

※このエコツアーは、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています。

県内のイベント情報

○イベントの詳細については、それぞれの主催団体へお問合せください。

①冬の網張の森を歩く

(スノーシューハイキング)

【日時】12月20日（土）
9：30～12：30

【集合場所】網張ビジターセンター
【参加料】大人500円 小学生300円
【定員】20名

②鞍掛山麓アニマルトラッキング

(スノーシューハイキング)

【日時】平成27年1月25日（日）
9：30～14：30

【集合場所】相の沢登山口（駐車場）
【参加料】大人500円 小学生300円
【定員】20名

【①～②お問合せ】

網張ビジターセンター
TEL：019-693-3777
FAX：019-693-3778

③シェアリング・ネイチャー

【日時】11月22日（土）
10：00～12：00

【集合場所】9：50ネイチャーセンター
集合

【対象】どなたでも
【服装】野外活動に適したもの
【参加費】無料
【定員】20名（先着順）

④定例 森の観察会（毎月第3日曜） 12月「自然の宝物見つけ隊」 葉っぱのスタンドグラス

【日時】12月21日（日）
10：00～12：00

【場所】ネイチャーセンター
※お気に入りの押し葉をご持参ください。

【③～④お問合せ】

岩手県滝沢森林公園
野鳥観察の森 ネイチャーセンター
TEL/FAX：019-688-5522

⑤ウッドバーニング教室

【日時】11月23日（日）
10：00～15：00
【参加料】500円

【定員】10名

【内容】鳥、動物、草花などの図柄を
焼き絵にする

⑥楽しい植物の勉強会

【日時】12月7日（日）
10：00～12：00

【参加料】500円
【定員】20名
【内容】里山に自生する身近な植物を
中心とした座学と散策

【⑤～⑥お問合せ】

森林ふれあい学習館フォレストアイ
TEL：0195-78-2092

●環境イベントの情報をお持ちの方
は、環境学習交流センターま
でお知らせください。チラシや
ポスター等も掲示させていた
いております。

環境学習交流センターの事業紹介

～ご家庭や、学校、地域での環境学習、環境保全活動にお役立てください～

貸出物をご利用ください！

地球温暖化をはじめ環境問題に関するパネルや紙芝居、様々な発電を体験できる実験キットなどを貸出しております。今年度、新たにパネルも追加しており、お問合せも増えています。環境に関するイベントや、学校での環境学習などにお役立て下さい。

※申込みは先着順となります。先に予約が入っていると、貸出できない場合があります。

(事前に貸出状況をお電話でご確認ください)

※申込みは、基本的に貸出希望日の2週間前までをお願いします。

※貸出の対象は、学校・自治体・企業・団体などです。個人への貸出は行っておりません。



こどもエコクラブに参加しませんか？

「こどもエコクラブ」(Junior Eco-Club)は、平成7年から都道府県・市町村との連携のもと、子どもたちが地域の中で楽しみながら自主的に環境活動・学習を行うことを支援する「こどもエコクラブ事業」として推進されてきました。子ども2人と大人1人以上のグループから参加可能で、家族や友人同士、学校、自治体までさまざまなエコクラブが参加・活動しています。登録は無料です。皆さんも参加してみませんか？

詳しくはホームページもご覧ください。「こどもエコクラブ」：<http://www.j-ecoclub.jp/>

また、岩手県では独自に年2回の交流会を設け、各クラブ間同士の情報交換や自然体験会を開催しています。今年は、10月に葛巻町にて1回目の交流会を開催しました！次回は冬、1泊2日の予定です。詳細が決まり次第、ホームページにて情報を公開していきますので、お楽しみに♪



昨年のこどもエコクラブ交流会

●「いわて環境情報板」更新中です！●

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などをお伝えしています。

環境という広範囲な話題を、皆さんにとって身近に感じられるよう、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けしています。毎月更新していきますので、お楽しみに！

また、皆さまからお寄せいただいた情報も掲載させていただきますので、お気軽にお問合せください。

「いわて環境情報板」：<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

センター通信 スタッフのつぶやき

今年も寒い冬が近づいてきました。厚着はもちろんです。手首や足首を中心に温めるため、アームウォーマーやレッグウォーマーを使って今年も乗り切ろうと思います。

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

[E-mail] eco@aiina.jp

[Website] <http://www.aiina.jp/environment/>

[Blog] <http://blog.iwate-eco.jp/>

[Twitter] http://twittre.com/iwate_eco

[Facebook] <https://www.facebook.com/iwate.eco>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。